



“Feature the Future with Sound”

AES東京コンベンション2009

AES 14th Regional Convention, Tokyo

技術発表募集のご案内

2009年7月23日（木）～25日（土）

科学技術館（東京都千代田区 北の丸公園）

AES 日本支部

Audio Engineering Society Japan Section

■ AES 東京コンベンション 2009 技術発表募集のご案内

平素はAES 日本支部運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、AES 日本支部では来る2009年7月23日(木)より25日(土)まで、「AES 東京コンベンション2009 (AES 14th Regional Convention, Tokyo)」を東京・科学技術館において開催するはこびとなりました。

ご承知のとおり、AES(Audio Engineering Society)は、1948年に設立されたオーディオ技術に関する国際的組織で、オーディオ技術に関連した研究者からソフト制作エンジニアまで、様々な分野及び職種から12,000名を超える専門家が参画しています。

AES 日本支部は1952年に創立され、日本のオーディオ技術の発展に寄与する日頃の活動とともに、1985年から隔年で東京コンベンションを開催しています。

今回のAES 東京コンベンション2009のテーマは「Feature the Future with Sound」です。音楽や映画産業を中心に発展してきたオーディオ技術が、今や、デジタル放送やインターネット配信、ゲーム産業を始めとするエンターテインメント産業、そして様々なモバイル機器など、身近な機器へその応用範囲を広げております。この様な技術の進展の中で、これからのオーディオ技術が担うべき方向について、皆様と共に考えていきたいと思っております。開催にあたっては、機器展示、技術発表(ペーパーセッション)、ワークショップに加えて、プロダクトセミナー、学生教育プログラムもさらに充実させたコンベンションを目指します。主な概要は以下のとおりです。

■ 機器展示・プロダクトセミナー

従来スタイルの機器展示に加え、最新機器の詳細やノウハウをより具体的に理解し、その音もじっくり聞いていただけるような場として、「プロダクトセミナー」を開催します。新製品や新技術のプレゼンテーションやメーカーとユーザーとの情報交換の場としてぜひご活用ください。

■ 技術発表

オーディオ技術に関する最新の研究開発の詳細や制作現場の技術的なトピックをご紹介します。

■ ワークショップ

サラウンドやハイレゾリューションオーディオなどの最先端技術をはじめ、オーディオが関わる様々な分野について、放送、ゲーム制作などソフト制作者からメーカーなどのハード技術者までそれぞれの分野でご活躍の方々を招き、オーディオの現在そして今後の動向について語っていただきます。

■ 産学交流プログラム

大学や研究機関での研究成果を展示していただき、産業界での新たな技術導入に向けた産学交流の場を提供致します。

■ 学生教育プログラム

学生や若手エンジニアのための「サウンド・アワード」をさらに充実させると共に、学生や若手のエンジニアを対象にしたセミナーを開催します。

東京コンベンション2009は、あらゆるオーディオ関連技術を幅広く網羅し、ご発表の皆様とご協力いただき企業各位、そして、ご来場いただく皆様にとって有意義な3日間となるよう、実行委員会が総力をあげて魅力ある企画を準備してまいります。関連する技術、商品、事業をお持ちの皆様方におかれましては、是非とも積極的にご発表やご出展を賜りますよう、ご案内申し上げます。

AES 東京コンベンション2009

実行委員長 鈴木 弘明

I. 開催概要

1. 名称

AES 東京コンベンション2009
AES 14th Regional Convention, Tokyo

2. メインテーマ

Feature the Future with Sound

3. 会期

2009年7月23日(木)、24日(金)、25日(土)

4. 会場

科学技術館(東京都千代田区北の丸公園)

5. 主催

AES 日本支部

6. 事務局

AES 日本支部 コンファレンス係
URL: <http://www.aes-japan.org/special/aes2009/>
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-38-2-703
TEL:03-5358-7320(木曜日PM), 042-585-4443(左記以外)
Email: convention@aes-japan.org

II. 技術発表募集内容

1. 募集技術分野

音響機器、室内音響、デジタル信号処理・伝送、マルチチャンネルオーディオ、ハイレゾリューションオーディオ、ネットワークオーディオ、ゲームオーディオなど、最新の音響・オーディオ技術を基礎研究から現業技術まで幅広くご紹介頂きたいと思っております。また、今回の会場は十分な再生環境を提供できますのでサウンドデモを伴う発表も歓迎しております。

発表申し込み締め切り：2009年3月10日(火)までにAES東京コンベンション特設ページ(<http://www.aes-japan.org/special/aes2009/>)から、必要事項をフォーム入力の上、お申し込みください。

2. 発表採用のご通知

発表の採否を決定し 3月24日(火) までにご通知申しあげます。

3. 予稿

ご発表をお願いする方には予稿をご用意いただきます。予稿作成要領は後日お送りいたします。

予稿締め切り 5月11日(月)

今回は予稿集を CD-ROM 版に統一することにより、予稿集のページ制限はありません。また、ご発表内容を海外に広く知って頂くために、今回は原則として英語による投稿をお願いいたします。英文で書かれた優秀な論文については AES Journal への掲載を本部に推挙し、日本支部としてサポートいたします。また、CD-ROM は本部を通じて海外への頒布も検討しております。また、予稿の著作権は AES 日本支部に委譲いただきます。

なお、提出していただきました予稿につきましては、約1ヶ月の間、主に体裁に関する査読をさせていただきますが、必要に応じて、原稿の修正をお願いすることがあります。

4. 発表

口頭発表の他、ポスターセッションの場を設けます。ポスターセッションでの発表を希望される方は、申込時に希望願います。スライドやパネルなどの発表資料において、図やキャプションは英語表記をお願い致します。

また、英語での発表を歓迎いたします。

5. 発表に関わる料金

ご発表者には参加費として、規定の入場料をお支払いいただきます。参加費は、AES 会員の方は会員料金、非会員の方は一般料金となります。また、それぞれ学生料金が設定されております。なお、予稿集 CD-ROM はご発表者にお渡しします。

6. 発表時間

質疑応答を含み 20 分の予定です。詳細は発表採用通知時にお知らせ致します。

7. その他の注意事項

1. 発表内容について

ご発表頂く内容は、未発表のものであり、発表者(共同執筆者含む)固有の研究によるものとします。発表に関わる他者の特許、著作権、著作権等に関しては、発表者により事前に処理済みであるものとしてください。

2. 特許申請について

本発表会は、特許法第 30 条等(新規性の喪失の例外)が適用されません。ご発表の一部もしくは全ての内容を対象とした特許申請をお考えの方は、十分ご注意をお願い致します。なお、予稿集の発行日は、2009年7月23日(コンベンション開催日)となります。

8. 発表申し込み方法

AES 東京コンベンション特設ページ(<http://www.aes-japan.org/special/aes2009/>)から、必要事項をフォーム入力の上、お申し込みください。発表お申し込みに関するご質問は、技術発表委員会(E-mail: 14th_paper@aes-japan.org)へご連絡ください。

締め切り：2009年3月10日(火)

Ⅲ. 開催組織構成

■AES 日本支部

支部長 小野 一穂 (日本放送協会)

■AES 東京コンベンション 2009 実行委員会

委員長 鈴木 弘明 (ソナ (株))

副委員長 小野 一穂 (日本放送協会)

同技術発表委員会

委員長 西村 明 (東京情報大学)

副委員長 丸井 淳史 (東京芸術大学)

委員 飯田 一博 (千葉工業大学)

委員 尾本 章 (九州大学)

委員 梶川 嘉延 (関西大学)

委員 栗栖 清浩 (TOA 株式会社)

委員 西口 敏行 (日本放送協会)

委員 守谷 健弘 (日本電信電話 (株))